

今月の経済動向（平成29年12月）

● 月例経済報告

<p>基調判断</p>	<p>(12月) 景気は、緩やかな回復基調が続いている。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続かなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。</p> <p>(11月) 景気は、緩やかな回復基調が続いている。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続かなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。</p>
<p>個人消費</p>	<p>(12月) 緩やかに持ち直している。</p> <p>(11月) 緩やかに持ち直している。</p> <div data-bbox="699 430 1353 810" data-label="Figure"> </div>
<p>設備投資</p>	<p>(12月) 緩やかに増加している。</p> <p>(11月) 持ち直している。</p> <div data-bbox="699 833 1353 1214" data-label="Figure"> </div>
<p>住宅建設</p>	<p>(12月) このところ弱含んでいる。</p> <p>(11月) 横ばいとなっている。</p> <div data-bbox="699 1236 1353 1617" data-label="Figure"> </div>
<p>雇用情勢</p>	<p>(12月) 改善している。</p> <p>(11月) 改善している。</p> <div data-bbox="699 1639 1353 2020" data-label="Figure"> </div>

月例経済報告：内閣府

<p>生産</p>	<p>(12月) 緩やかに増加している。</p> <p>(11月) 持ち直している。</p>	<p>鉱工業生産・出荷・在庫・在庫率の推移 (2010年=100)</p>																								
<p>輸出</p>	<p>(12月) 持ち直している。</p> <p>(11月) 持ち直している。</p>	<p>地域別輸出入数量指数 (2010年=100) ①輸出</p> <table border="1"> <tr> <td>アメリカ</td> <td>11月</td> <td>+2.6%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA</td> <td>▲0.7%</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>11月</td> <td>+3.4%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA</td> <td>+0.5%</td> </tr> <tr> <td>アジア</td> <td>11月</td> <td>+2.3%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA</td> <td>+1.8%</td> </tr> <tr> <td>EU</td> <td>11月</td> <td>▲2.6%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA</td> <td>▲0.8%</td> </tr> </table>	アメリカ	11月	+2.6%		3MA	▲0.7%	全体	11月	+3.4%		3MA	+0.5%	アジア	11月	+2.3%		3MA	+1.8%	EU	11月	▲2.6%		3MA	▲0.8%
アメリカ	11月	+2.6%																								
	3MA	▲0.7%																								
全体	11月	+3.4%																								
	3MA	+0.5%																								
アジア	11月	+2.3%																								
	3MA	+1.8%																								
EU	11月	▲2.6%																								
	3MA	▲0.8%																								
<p>国内企業物価</p>	<p>(12月) 緩やかに上昇している。</p> <p>※「このところ」を削除</p> <p>(11月) このところ緩やかに上昇している。</p>	<p>企業物価の推移 (2015年=100)</p>																								
<p>消費者物価</p>	<p>(12月) 横ばいとなっている。</p> <p>(11月) 横ばいとなっている。</p>	<p>消費者物価の推移 (2015年=100)</p>																								
<p>海外経済</p>	<p>(12月) 世界の景気は、緩やかに回復している。先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、中国をはじめアジア新興国等の経済の先行き、政策に関する不確実性による影響、金融資本市場の変動の影響等について留意する必要がある。</p> <p>(11月) 世界の景気は、緩やかに回復している。先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、中国をはじめアジア新興国等の経済の先行き、政策に関する不確実性による影響、金融資本市場の変動の影響等について留意する必要がある。</p>																									

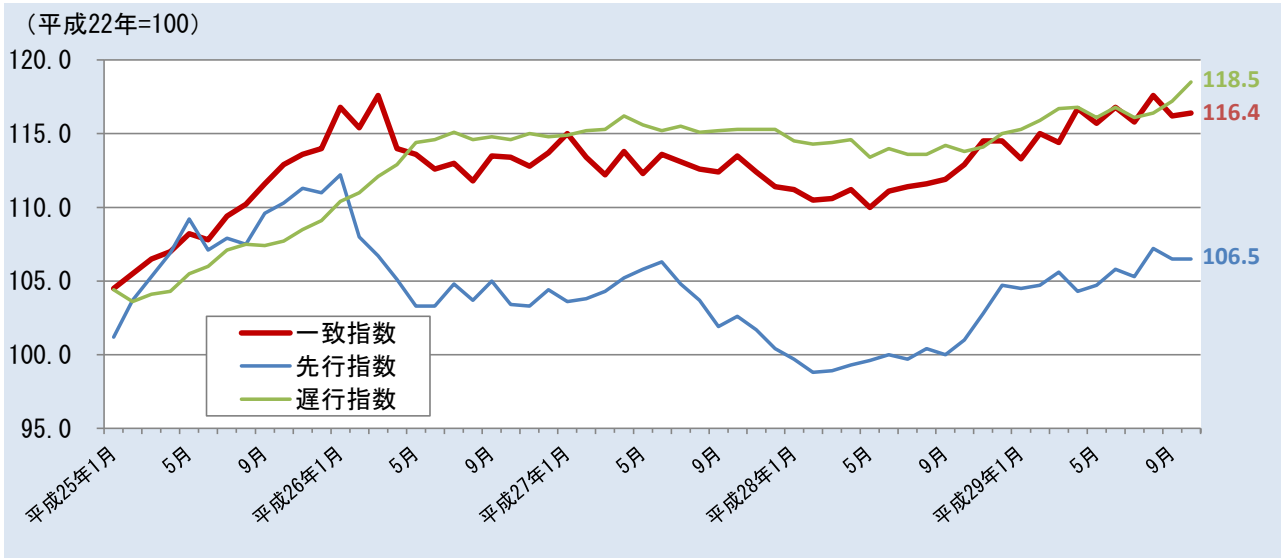
[月例経済報告：内閣府](#)

● 景気動向指数（平成29年10月・改訂値）

平成29年10月のCI一致指数（改訂値）は前月より0.2ポイント高い116.4ポイントとなった。
 CI先行指数は前月と変化なしの106.5ポイント、遅行指数は前月より1.3ポイント高い118.5ポイントとなった。
 景気の基調判断（CI一致指数）は、「改善を示している」を据え置いた。

※CIのすべての指数は算出に用いるデータが一部遡及改訂されたため、全期間の値が遡及改訂された。
 このため、前月との比較は改訂後の数値で比較しており、前月発表された数値との比較ではないことに注意。

・ CIの推移



[景気動向指数：内閣府](#)